

工事事故防止行動計画 ニュースレター

工事事故「0」を目指して

2019.10.25

10号



令和元年8月27日事故発生

引込管

水道本管

【被害】
 ・断水 4.7h 家屋1戸
 ・工事中断 8日間
 ・公衆損害で「減点」



工事箇所

現場代理人と監督員が立会

事故箇所
バックホウ(押入)
破損引込管

監督員 現場代理人

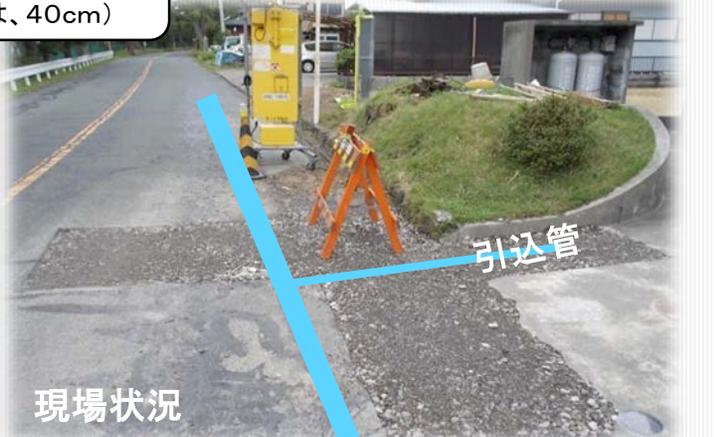
現場代理人、手元確認作業員が戻るまで、掘削作業を待っているべきだった。

引込管の位置は、およそ把握していたが、深さは60cm以上あると思いき込んでいた。(実際は、40cm)



引込管埋設状況

試掘により、深さも確認すべきだった。



現場状況

引込管

【事故の概要】

- 県道側溝工事での側溝設置のための床掘作業現場
- 市水道課配管図により引込管の概ねの位置は把握できたが深さの情報は無かった。
- ハザードマップは作成していたものの現場に掲示せず、埋設管の位置情報も現場に明示しなかったため、作業員は民地仕切弁位置から引込管位置を想定して作業を行っていた。
- 事故発生までは試掘せず仕切弁位置を参考に砂巻立が無いを確認しながらバックホウで深さ0.6m程度の床掘を進めてきたが、それまでは引込管は出なかった。
- 事故時も引込管は出ないと思いき込み床掘作業を行い、作業途中で、現場代理人とバックホウの手元確認作業員が、別作業で不在になったため、一時、作業を中断した。
- バックホウオペレータが作業を少しでも早く進めたいと思い、現場代理人や手元確認作業員が戻る前に床掘を再開したところ、引込管がこれまでより浅い0.4mの位置で砂巻立がない状態で出現し、破損してしまった。

【再発防止策】は、裏面参照⇒

交通基盤部 土木工事 事故発生件数	事故分類	工事関係者(傷害)	第三者(傷害)	第三者(物損)	工事事故合計	令和元年 9月末現在 (前年同期)
	件数	0件(1)	0件(0)	15件(16)	15件(17)	

令和元年9月30日までで「死亡事故ゼロ」1291日を達成しました！

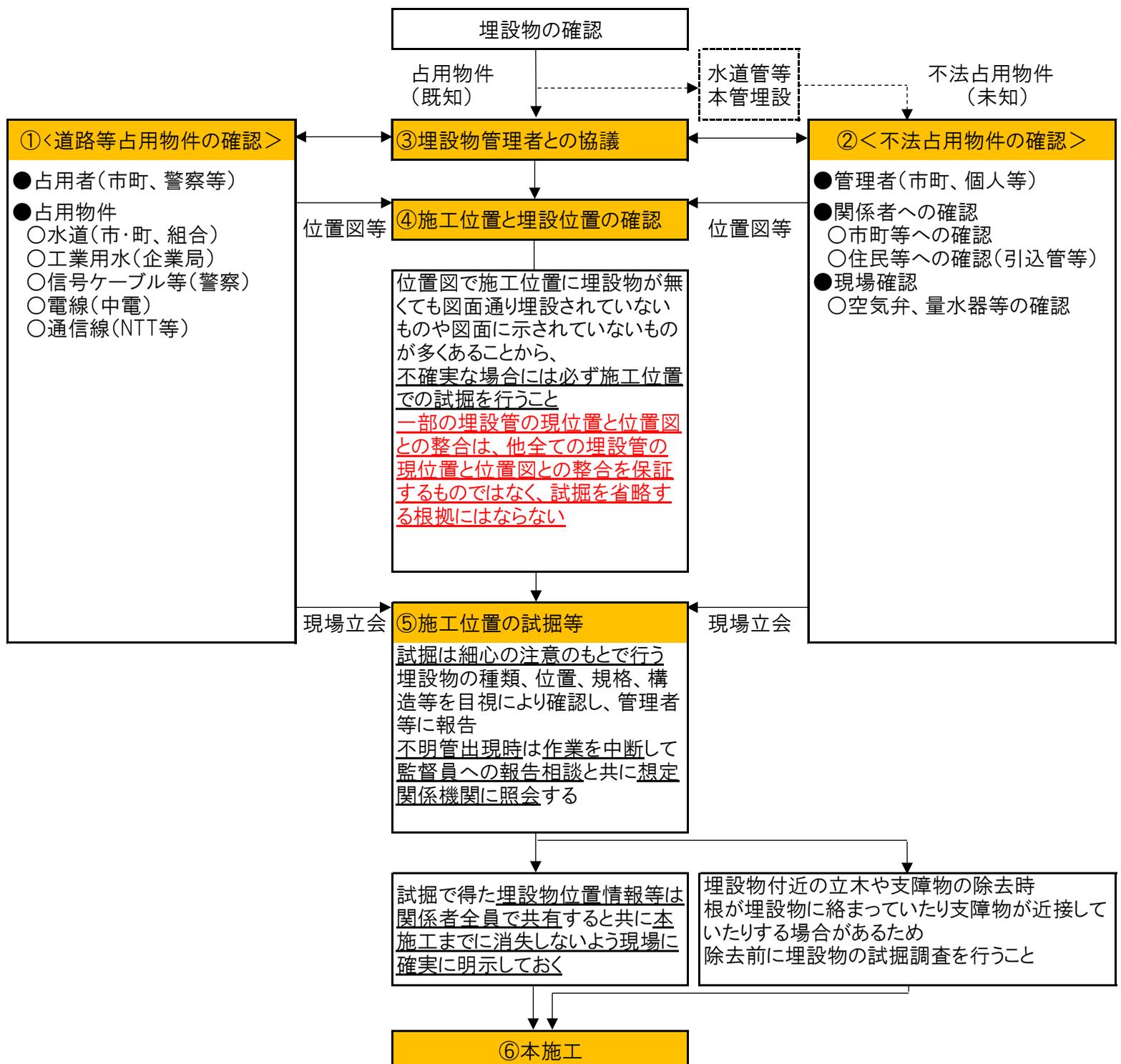
静岡県交通基盤部建設支援局工事検査課 054-221-3652

＜再発防止策＞

【本事故の再発防止策】

- ①埋設管等の情報は、資料確認だけでなく、現地に明示し誰もが分かるようにし、人力での試掘を行う。
- ②あらゆるリスクに対してのハザードマップを作成すると共に、現場への掲示、KY活動等により作業員に周知徹底する。
- ③重機作業は、現場代理人が監督できる状態にある場合にのみ行う。
- ④手元確認作業員により、土質・埋設管の状態を注視する。

道路等施工(掘削、杭打等)時の埋設物事故防止のための埋設物確認フロー(Ver.3)



本ニュースレターの事案の事前確認手順を上記フローで確認すると
⑤の対応を行わなかったため、事故につながった